



2019年5月10日

各位

会社名 株式会社 サックスパーホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 木山 剛史  
(コード番号 9990 東証第一部)  
問合せ先 常務取締役管理部長 山田 陽  
TEL 03-3654-5315

### 中期経営計画に関するお知らせ

当社は、このたび2020年3月期から2022年3月期までの中期経営計画を策定いたしましたので、前中期経営計画(平成29年3月期～平成31年3月期)の総括と併せて、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 前中期経営計画(平成29年3月期～平成31年3月期)の総括

3期間の連結業績計画及び実績(平成29年3月期～平成31年3月期)は以下のとおりであります。

##### (1) 計画

(単位：百万円、%)

	29年3月期	売上比	30年3月期	売上比	31年3月期	売上比
売上高	59,330	—	62,766	—	65,597	—
売上総利益	28,410	47.9	30,124	48.0	31,610	48.2
販売費及び 一般管理費	23,543	39.7	24,917	39.7	26,033	39.7
営業利益	4,867	8.2	5,207	8.3	5,577	8.5
経常利益	4,896	8.3	5,235	8.3	5,569	8.5
当期純利益	3,009	5.1	3,219	5.1	3,426	5.2

##### 小売事業部門 出退店数及び既存店売上前期比の計画

	29年3月期	30年3月期	31年3月期
出店数	38	40	40
退店数	12	15	15
期末店舗数	668	693	718
既存店売上前期比(%)	100.8	100.5	100.6

## (2) 実績

(単位：百万円、%)

	29年3月期	売上比	30年3月期	売上比	31年3月期	売上比
売上高	56,747	—	55,756	—	55,774	—
売上総利益	27,208	47.9	26,621	47.7	26,553	47.6
販売費及び 一般管理費	22,743	40.1	22,821	40.9	22,830	40.9
営業利益	4,465	7.9	3,800	6.8	3,723	6.7
経常利益	4,526	8.0	3,860	6.9	3,775	6.8
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,658	4.7	2,221	4.0	2,177	3.9

(参考) 小売事業部門 出退店数の実績

	29年3月期	30年3月期	31年3月期
出店数	34	31	22
退店数	21	31	43
期末店舗数	655	655	639

(注) 平成31年3月期から当社の100%子会社である(株)カーニバルカンパニーを連結対象としており、小売事業等を含めております。

## (3) 実績と計画との差異

(単位：百万円、%)

	29年3月期	計画比	30年3月期	計画比	31年3月期	計画比
売上高	-2,583	-4.4	-7,010	-11.2	-9,822	-15.0
売上総利益	-1,200	-4.2	-3,502	-11.6	-5,056	-16.0
販売費及び 一般管理費	-799	-3.4	-2,095	-8.4	-3,202	-12.3
営業利益	-401	-8.3	-1,406	-27.0	-1,853	-33.2
経常利益	-369	-7.6	-1,374	-26.3	-1,793	-32.2
親会社株主に 帰属する 当期純利益	-349	-11.6	-997	-31.0	-1,248	-36.4

(参考) 小売事業部門 出退店数の実績と計画との差異

	29年3月期	30年3月期	31年3月期
出店数	-4	-9	-18
退店数	+9	+16	+28
期末店舗数	-13	-38	-79

平成 29 年 3 月期は、F1 層(20 歳～34 歳までの女性)向け提携ブランドの売上低下によるカジュアルバッグの売上減少やインバウンド売上の減速等により既存店売上前期比が 100.8%の計画に対し 95.6%と低調に推移したことと、出店数が計画をやや下回り、退店数が計画を上回って店舗数が計画より減少したことにより、売上高計画比が 4.4%減となりました。既存店売上が低調に推移したため、販売費及び一般管理費の比率が計画比 0.4 ポイント上昇し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益はそれぞれ計画比 8.3%減、7.6%減、11.6%減となりました。

平成 30 年 3 月期は、平成 29 年 3 月期の実績が計画を下回ったことに加えて、F1 層向け提携ブランドの売上低下によるカジュアルバッグの売上減少が続き、既存店売上前期比が 96.2%と引き続いて低調に推移したことと、店舗数も計画より大きく減少したことにより、売上高中期経営計画比は 11.2%減となりました。円安の影響により製造・卸売事業部門の売上総利益率が低下したことにより、売上総利益率も計画を 0.3 ポイント下回りました。これらの結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益はそれぞれ中期経営計画を大きく下回りました。なお、単年度の業績予想については平成 29 年 3 月期の実績を踏まえ、平成 29 年 5 月 10 日付の決算短信公表時に見直しを行なっております。

平成 31 年 3 月期の単年度の業績予想については、平成 30 年 3 月期の実績を踏まえ、平成 30 年 5 月 9 日付の決算短信公表時に見直しを行なっております。実績と中期経営計画の対比は表のとおりです。

## 2. 新中期経営計画（2020 年 3 月期～2022 年 3 月期）

3 期間の連結業績計画は以下のとおりであります。

(単位：百万円、%)

	2020 年 3 月期	売上比	2021 年 3 月期	売上比	2022 年 3 月期	売上比
売上高	57,077	—	59,120	—	61,703	—
売上総利益	27,372	48.0	28,507	48.2	29,893	48.4
販売費及び 一般管理費	23,495	41.2	24,346	41.2	25,436	41.2
営業利益	3,877	6.8	4,160	7.0	4,456	7.2
経常利益	3,913	6.9	4,197	7.1	4,494	7.3
当期純利益	2,280	4.0	2,453	4.2	2,637	4.3

(注) 2019 年 7 月 1 日付で株式会社三香堂の株式を取得する予定であり、その業績予想を 2020 年 3 月期第二四半期以降の計画に含めております。

小売事業部門 出退店数及び既存店売上前期比の計画

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
出店数	27	33	35
退店数	15	14	12
期末店舗数	656	675	698
既存店売上前期比(%)	102.3	100.7	100.9

(注) 2019年7月1日付で株式会社三香堂の株式を取得する予定であり、同日付で同社の5店舗を引き継ぐ予定であります。

なお、本中期経営計画は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいておりますが、その達成を約束する趣旨のものではなく、また、さまざまな要因により変動する可能性があることにご留意ください。

以 上